

農 場 通 信

農業活動での汗を感動へ ～実習による成就感と達成感～

■マーケティングを学ぶ（システム園芸科）

1月17日（月）、24日（月）、キャリアビジョン育成事業の一環として、山梨学院大学の粘逸彦先生を講師にお招きし、システム園芸科3年生を対象としたマーケティング講座を開催しました。「商品とはどのようなもの？消費者のニーズにはどのようなものがあるか？買い物の動機って何だろう？“売れる商品”を作るための消費者の分類とは？」など、農業経営の授業で学んだマーケティングの発展的な学習をしました。生徒たちはお互いの意見を出し合いグループワークを行いました。高校を卒業後、物作りや販売の仕事、賢い消費者となる為の学習会となりました。



■オリパラ選手村の木材を再利用（森林科学科）

今年度、東京で開催されたオリンピック・パラリンピックでは、全国各地で生産された県産木材を集め、選手村などを建築に活用されました。大会後、大会施設は解体され、その木材は各都道府県へ返却され再利用されることになりました。森林科学科は、この返却木材を再利用して、県民が広く利用できる木工製品の作成に取り組んでいます。2,3年生の木材加工の授業では、県民が広く利用できる製品とは何かを考えた結果、大型ベンチを作成することになりました。

数個のベンチが完成したので、2月には県内の各公共施設に製品を寄贈したいと考えています。この取り組みを通じて、県民に木材が再利用可能な素晴らしい資源であることをPRしたいと思います。



■万能試験機を更新（環境土木科）

土木構造物を造る各材料の強度を測定する機械（万能試験機）が導入されました。これにより、手動とPC等による操作の自動化やデータの処理ができるようになりました。また、コンクリートや鉄筋の試験の幅が広がりました。早速、3年生を対象に鉄筋の引っ張り試験とコンクリートの圧縮試験を行い、その性能や実験データを見て、今まで学んだ学習内容を深めました。

今後、土木材料の性質と強さを理解し、社会基盤を支える土木構造物を学ぶ授業に、この万能試験機をフル活用していきたいと思ひます。



■あずまやの再建（造園緑地科）

12月10日（木）、フランス庭園のあずまやの上棟式が行われました。以前あったあずまやは、一昨年の台風で倒木の下敷きになり倒壊した為、2年かけて課題研究の授業で再建に取り組みました。昨年度の先輩は基礎を作りました。そして、本年度は東京オリンピックで使われた県産材を再利用し、木の国サイト様の協力の下、3年生の生徒が組み上げました。庭園施設工の作成や、物を作る仕事の面白さを知る学習となりました。また、後世に残る製作ができたことに、生徒たちは、とても喜びを感じました。また、テレビや新聞にも報道され、終業式では校長先生が全校生徒に紹介してくださいました。



■農林高校ワイン 地理的表示審査に合格！（食品科学科）

秋に仕込みを行った農林高校産のワインは発酵管理も終わり、間もなく瓶詰めされます。授業で製造したワイン、その品質は果たしてどのくらいなのでしょうか？

そこで、今年度は山梨県ワイン酒造組合が主催する「地理的表示 GI Yamanashi」の審査会に出品しました。「地理的表示 GI Yamanashi」とは産地が品質を保証するワインの地域ブランドです。条件は、山梨県産ブドウが原料であること、山梨県内で製造、瓶詰めを行っていること、一定の品質を満たしていることです。合格するとラベルに「山梨」「GI Yamanashi」と表示することができます。この表示により、消費者にワインの産地や品質の安全性や安心感を伝えることができます。

結果、本校の赤、白、ロゼの3銘柄のすべてが審査に合格し、農林高校ワインが厳格な品質基準を満たしていることが証明されました！これはマイスターハイスクール事業を通して、より専門的な業界水準の知見を用いた製造が展開できたからこそだと考えます。



■プロジェクト県大会の学校代表が決定（農業クラブ）

今年度も新型コロナウイルスの影響は大きく、農業クラブの最後のイベント「校内プロジェクト発表会」も一部変更して、実施しました。全校生徒が体育館に入って発表を見ることはできませんでしたが、各学科が日々の学習を通して様々なプロジェクトを考え、進めていることを全校生徒で認知することができました。

今年度は、【第Ⅰ類：誰でもできる「やはたいたいも」】、【第Ⅱ類：ワイン高品質化への取り組み ～GI Yamanashi 取得を目指して～】、【第Ⅲ類：市域資源活動をやってみる 農林高校的市民農園・商品開発】が校内大会で最優秀となり、また

【第Ⅱ類：農林高校農場平面図の作成～測量方法の学習効果～】が選ばれました。この4つのプロジェクトは、県大会に学校代表として出場します。県大会でも素晴らしい発表を期待します。

